



国分寺小 校長室だより

木の陰

令和6年度 第14号 令和7年2月27日



クラブ見学を行いました

1月30日(木)のクラブ活動の時間に、3年生がクラブ見学を行いました。クラスごとに、各クラブの活動の様子を見学しました。クラブ活動は、4年生から6年生までの同好の児童で行う特別活動の授業で、児童はとても楽しみにしています。今年度は、屋外スポーツ、屋内スポーツ、卓球、室内ゲーム、読書、イラスト、工作、パソコン、家庭、音楽の10のクラブがあります。3年生はどのクラブ活動の様子も興味深く見学し、来年度に自分が入りたいクラブについて考えていました。



カンピくんカップに出場しました

2月1日(土)に、カンピくんカップが石橋体育センターで行われ、本校も4~6年生の10名の児童(2チーム)が参加しました。カンピくんカップは、市のスポーツ振興課主催の、小学生のキンボール大会です。本校の参加児童は、地域の総合型スポーツクラブ「夢くらぶ国分寺」に所属しています。「国分寺小ファイターズ(6年チーム)」が、日頃の練習の成果を發揮して昨年度に引き続き優勝し、見事に2連覇を飾りました。



慈眼寺の節分祭に参加しました

2月3日(月)に、慈眼寺さんの節分祭に、本校の3年生が参加しました。社会科の「地域に昔から残る建物、伝わっている行事」の学習です。本堂での護摩供養を見学し、その後、豆まきに参加しました。3年生は、櫓の上からまかれる豆や品物を、大喜びで拾っていました。ご招待いただいた慈眼寺の皆様、ありがとうございました。



入学説明会・一日入学を行いました

2月4日(火)に、新入学生保護者の皆様への入学説明会、新入学生の一日入学を行いました。保護者の方々への入学までの準備等の説明を行っている間、新入学生は、1・2年生の教室で、お絵描き、読み聞かせ等の学習体験を行いました。その後、新登校班編成を行い、新入学生は下校班で帰りました。下校時は、補導委員さんのパトロールも行われました。補導委員の皆様、お世話になりました。次年度の新入学生は、92名の予定です。4月10(木)の入学式が楽しみです。



PTA事業「逃走中」を行いました

2月10日(月)に、PTAの皆さんが、6年生の思い出作り事業として、「逃走中」(鬼ごっこ)を行っていただきました。6年生の参加希望児童が逃げて、PTA役員、保護者ボランティア、教員、白鷗大学の学生ボランティア等の皆さんが、ハンターとなって追いかけるゲームです。途中、3つのミッション(長縄跳び、宝探し、○×クイズ)を挟みながら、楽しく本気の鬼ごっこを楽しみました。PTA本部役員の皆様や、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



6年生の卒業を祝う会を行いました

2月19日(水)に、「6年生の卒業を祝う会」(児童会行事)を行いました。開会式の後、しいの木班ごとに各教室を回りながら、チャレンジランキングを行いました。5年生がチャレンジランキングの説明や進行を行いました。閉会式では、5年生からのお礼の言葉、1年生からのプレゼント贈呈を行い、最後に6年生からのあいさつがありました。1年生から5年生は6年生への感謝の思いを伝え、6年生は卒業への意識を高める、楽しくあたたかい会となりました。



学校アンケート結果その③

今回は、2月19日(木)に行われた学校運営協議会④や事前に送っていただいた委員の皆様からのご意見をお知らせします。

《学校運営協議会委員の皆様からのご意見》

○質問1 授業

・児童は概ね、学習内容を理解し楽しく受けているようでよいと思う。C・D評価の児童は、どのような点で自己評価が低かったのかの検証をし、サポートをお願いしたい。

○質問2 学び合い

・児童は高評価だが、保護者のC・D91人について、どのような点でそう付けたのか気になる。

・自分の思いや考えを持っていても、いざ話すときは勇気がいるものである。日頃から家庭生活において、子の思いをしっかりと聞いてあげる環境作りも必要なのではないかと思う。

児童が安心して話せる学級経営も重要と考える。

○質問3 運動

・目標と結果が明確になっているといいと思う。

・児童の運動量が低下していることが指摘されているが、よい取組だと思う。

・運動が苦手な児童がいるのも現実である。苦手ながらも自信を持って取り組めるような関わりが重要であると思う。

○質問4 家庭学習

・親が子どもに興味を持たず、子ども任せにしていれば、自主学習の習慣は身に付かないと思う。

・焦らずに、工夫して取り組んでほしい。

・家庭学習は保護者の協力が不可欠なので、家庭学習協調週間などの取組を今後も粘り強く続けてほしい。

・自主学習ノートの提出状況が増加しているのはとてもよい傾向だと思う。勉強したいと思える環境や言葉かけなど学校が取り組んでいる成果でもある。

○質問5 めあて

・めあてに向けて取り組んだ内容を分かりやすくすると、保護者にもより伝わるのではないか。保護者が不足していると感じている事柄が何なのか、さらに調査を進めてほしい。

・めあてに向かってしっかりがんばっているのに、保護者が理解していないのは寂しい。家庭の会話において、めあてについて話し合える機会を設定していくとよいと思う。

○質問6 読書

・新聞を読むことでもよいかと思う。新聞を取ってない家庭もあるのか。

・児童が本を読むことで、どのような効果があるか具体的な事例を調査し、周知するなどの

工夫が必要だと思う。

- ・保護者は、子どもが家で読書をしている姿を見ていないかもしれない。親は仕事、子は習い事などで忙しい現実である。そうした中でも親子で家読ができることが理想である。

○質問7 国小っ子のきまり(やくそく)

- ・児童、保護者とも評価が上がっていてよい傾向だと思う。教職員にはよい点を褒め、改善点を伝えるなど、継続してほしい。
- ・保護者、子どもに評価が高いのに対して、教師の評価が低いのは、学校生活の中で決まりや約束が守られていないと感じることが多いのか。

○質問8 早寝早起き朝ごはん

- ・残量が多い理由は何か。少食だからか、好き嫌いが多いのか。
- ・児童のC・D評価60人以上が気になる。学校は現状を把握し、少しでも改善していけるといいと思う。
- ・睡眠時間の確保はとても大切だと思う。

○質問9 清掃

- ・学校での児童のよい取組を家庭に伝えることと、児童には清掃や整理整頓することで気持ちよく生活できることを粘り強く伝えてほしい。
- ・家庭では、頼まれてもなかなか実行できないのだろうか。
- ・家庭では甘えもある。家庭ごとの清掃の仕方もあり、児童が経験しないこともある。
- ・清掃の様子を見ると、児童はよく清掃している。PTAのお掃除ボランティアや授業参観に清掃を入れるなど、保護者に児童の清掃の様子を見てもらうとよい。

○質問10 係、当番、児童会活動

- ・学校でのよい取組を、保護者にも粘り強く伝えてほしい。

○質問11 学校行事

- ・結果のよさは、創立150周年等、行事の充実があったからだと思う。
- ・子どもも保護者も学校行事への参加を楽しみにしているのが伝わる。
- ・ふれあい祭りの楽しさは、児童から保護者に伝わっているのだと思う。ぜひ、続けていただきたい。こうした行事は、報道機関にPRして、周知を図った方がよい。

○質問12 学校行事

- ・毎日の地道なあいさつ運動の成果が出てきている。社会に出ると、挨拶はとても重要な意味を持つことを今後も児童に啓発してほしい。
- ・声が小さかったり、誰かが言うまで挨拶しないことがある。誰にでも気持ちのよい挨拶ができるといいと思う。
- ・保護者自ら、見本を示してほしい。
- ・今市事件からの不審者対応の影響もあると思う。
- ・先生はどうしても課題に目が行き、厳しい目でみてしまう。
- ・大人でも挨拶ができないことがある。時間をかけて働きかけていく。

○質問13 思いやり

- ・学校生活の中で、お互いがよさを見つけて生活できているのは、日頃の教職員の取組のお陰である。
- ・友達のよいところを見つけて話し合う機会を設けるとよい。無記名でよいところを書いて、先生が発表するという方法はどうか。

○質問14 言葉遣い

- ・児童は、先生に感謝の気持ちを伝えることはできるのか。
- ・社会に出ると、正しい言葉遣いや礼儀が重んじられる。「温度差のない」指導をお願いしたい。
- ・きれいな日本語を話すことはとても大切である。保護者にも、自らきれいな日本語を使っていたきたい。

○質問15 健康

- ・今後も感染症等、不測の事態が起こることが考えられる。よい取組を継続してほしい。
- ・自分の健康はしっかり自分で守り、元気いっぱい過ごしてほしい。

○質問16 安全な登下校

- ・登下校の安全は、児童の意識向上が大切である。今後も繰り返し「自分の命は自分で守る」を徹底させてほしい。

○質問17 食事のマナー

- ・食育を充実させてほしい。

- ・食は児童が成長する過程で重要なことのひとつである。栄養教諭を中心として、教職員全体で同歩調で取り組んでほしい。
- ・無理強いをしたくないが、好き嫌いをなくす取組は大きな課題である。
- ・食わず嫌いや見た目を食べないこともある。食べることの意義や自分に必要な栄養の取り方などの食育をさらに充実させてほしい。

○質問18 先生は話を聞いている

- ・児童や保護者は、様々な考えを持っている。日頃からチームで情報を共有し、取り組んでほしい。
- ・自分のことだけで、人の話を聞けない子どもが多いように感じる。
- ・子・保護者ともにC・Dの評価があるのも現実である。そういった子どもたちに、しっかりと寄り添っていただきたい。

○質問19 先生は努力を認め、励ましている

- ・高評価だったのは日頃の先生方の取組の成果だと思う。引き続き、よいところを見つけ、褒めて伸ばしてほしい。
- ・日々忙しく、様々な苦労があることは承知しているが、ひとりひとりの子どもたちの声に耳を傾けていただきたい。
- ・先生によるのではないかと思う。

○質問20 先生は人として大切なことを教えている

- ・3者とも高い評価で安心した。いじめをいち早く発見し、不登校の子どもたちに寄り添っていただきたいと思う。
- ・常に人権意識を考えながら勤務されている教職員のお陰だと思う。

○質問21 児童は学校のことを話している

- ・日常の児童の様子をよく観察し、話を聞き対応してほしい。
- ・忙しい家庭が増えている現状だが、1日10分でもいいので、子どもと話す機会をつくってほしい。家庭での会話の大切さを何らかの形で伝えてほしい。

○質問22 学校で学習したり友達と遊んだりすることは楽しい

- ・同じ内容を聞く場合でも、質問の文言は難しいと思う。具体的なイメージができてよかったと思う。
- ・C・Dの評価の子どもたちがいることを忘れず、しっかり向かい合い寄り添っていただきたい。

○質問23 小中一貫教育

- ・小中連携のよさが好結果に表れていると思う。今後も無理のない一貫教育を進めてほしい。
- ・中学生と関わるのはとてもいいことなので、継続していただきたい。

○質問24 地域連携

- ・地域の中にある学校として、今後も情報発信や地域の教育力を生かしてほしい。
- ・学校が地域と連携し取り組んでいることが把握できていないのだと思う。これからも情報発信が重要である。